



鹿児島県立甲南高等学校

進路指導室だより

令和2年度 第1号 (4月21日発行)

未来につながる日々の蓄積をしよう

3学年主任 池尻 弥生

甲南生の皆さん、これからの1年をどう過ごそうと思いついて描いていますか。皆さんには将来自分がどのような生き方をしたいか、どのように世の中に関わっていきたいかを考え、高い志を持って日々を過ごしてほしいと思います。探究学習、部活動、生徒会活動、ボランティアなど様々な経験を通して幅広い視野を身に付け、またこの3年間だからこそできる学習にも果敢に挑戦し、次なるステージへの扉を自分の力で開けてください。

ここでは各学年向けにこれから1年間の学習において心掛けておいてほしいことを挙げます。

1年生

中学生の学習スタイルから高校生への学習スタイルへの転換

中学生の頃から自分で考えて学習していた人は比較的スムーズに高校の学習に移行できると思います。しかし、中学生の頃の勉強が「塾で与えられたものに取り組むこと」だった人は最初の3か月(4～6月)で自分なりの学習方法を実践できるようになることが大事です。この階段は少し高く、苦勞するかもしれませんが、大切なことです。次のポイントを確認しましょう。

- ① 教科担任の先生から指導された予習の仕方、授業の受け方、復習の仕方を理解している。
- ② 指導された予習や復習を実行している。
- ③ 授業内容が理解できている。
- ④ 授業を受けたあと、何を復習すればよいか分かっている。
- ⑤ 好きな教科、得意な教科は参考書や問題集で発展的な学習をしている。

「こうすれば自分は授業が理解できて、力がついている」と実感できることが重要です。苦手意識のある教科はあきらめずに時間をかけ、教科担当の先生に積極的に質問に行くなどして理解のきっかけをつかみましょう。

2年生

教科書を徹底的に学習する

2年生になると部活動や探究学習など、やるべきことが多く忙しくなります。中には「効率のよい学習＝近道」を求めて、市販の問題集などに手を出す人もいます。しかし、2年生の学習で成すべきことは教科書に書いてあることを徹底的に理解し、身に付けることです。たとえば英語なら授業で扱った文章は何度も音読して、文章ごと覚えてしまいましょう。2年生までに基本事項の理解を盤石にしておくことが、3年次に皆さんが受験することになる共通テストや各大学の個別試験で求められる「思考力」を鍛える素地になります。2年生こそ授業を120%生かすべきです。2年生に確認してほしいポイントは以下の通りです。

- ① 3点固定ができている。(3点とは起床時刻・帰宅後の学習開始時刻・就寝時刻)
- ② 予習が求められる科目は十分に予習している。
- ③ 復習の方法を工夫し取り組んでいる。
- ④ 1年次より学習時間が増えている。

3年生

ゴールを見据えた逆算の学習をする

1年間を次のように4つの時期に分けて意識して、その時期に自分は何をどこまで仕上げるかという考え方を勧めます。

1期（4～6月）	2期（7～9月）	3期（10～12月）	4期（1月～3月）
基本事項を徹底して身に付ける	演習による基本の定着 不得意科目の攻略	共通テスト・2次試験に向けた演習	2次対策 受験本番

※教科によっては授業進度の関係でこの通りにはいかない場合もあります。

1期

- ① 生活のリズムを整え、学習時間を確保する。
- ② 授業を中心とした予習と復習のサイクルを確立する。
- ③ 進路目標を明確にする。

2期

- ① 授業を中心とした予習と復習のサイクルを継続する。
- ② 7月末までに持っている教材を1回通り終える。8月からは2回目に入る。
- ③ 模試の解き直しを模試の直後に行う。
- ④ A0・推薦入試準備

3期

- ① 教材の3回目・4回目の学習をする。
- ② 共通テストに向けた演習と復習を繰り返す。復習に時間をかける。
- ③ 授業や補習を中心として2次試験を視野に入れた学習を継続する。
- ④ 推薦入試の準備

4期

- ① 体調管理を徹底し、受験に向けた学習の仕上げを行う。
- ② 2次試験に向けた学習を本格化させる。
- ③ やるべきことを全てやりつくして受験に臨む。
- ④ 受験は3月12日の後期日程試験まで。最後まで粘る。

このように考えると1年間はあっという間です。今あなたがやっていることは意味あることですか。受験生としての1年は皆さんが今までに経験したことのない不安や焦りとの闘いの1年でもあります。しかしまた同時に、皆さんは受験を通して学力だけでなく精神的にも大きく成長して大人になります。自らの未来を切り拓くため、今を大切に懸命に生きてください。

■ 進路指導部から

明日からの休校期間は、あなた方に1日＝24時間の過ごし方が任せられます。この2週間は、極力自宅で自分のために時間を使ってください。学校で6～7時間の授業が受けられないことを考えれば、その分自宅でやらなければならないことは分かるはずです。

この期間は、休校が解除となり甲南高校で再び学べる喜びを十分に発揮するための準備期間にしてほしいです。1日でも早く学校が再開できるように、感染防止の観点から外出を控え、読書・運動・課題研究など、家の中でできることに取り組んでほしいです。

そのためには、規則正しい生活を送る事を心がけましょう。学校がある時と同じように起床し、寝る時刻を固定しましょう。次に学習の計画を立てましょう。やるべきことはもちろんですが時間がある時だからこそでできること（例えば弱点科目の克服など）に取り組んでほしいです。

そして、学習の記録で1日を振り返り、次の日に生かしていける毎日を過ごしましょう。